

1. 岡山大学の理念, 目的等

1 岡山大学の理念 “高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかねばなりません。岡山大学は、公的な知の府として、高度な知の創成（研究）と的確な知の継承（教育と社会還元）を通じて人類社会の発展に貢献します。

2 岡山大学の目的 “人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保健、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるといふ、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため、我が国有数の総合大学の特色を活かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして、高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

3 岡山大学の教育理念・目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。

これまでの高度な研究活動の成果を基盤として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

教育理念

- ・ 自然と人間の共生を希求する。
- ・ 多様な文化・価値観を尊重する。
- ・ 地域と世界の発展に寄与する。

教育目標

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ・ 探求・創造する知性の育成 | —自ら問いかけ学ぶ教育— |
| ・ 豊かな教養と高度専門性の追求 | —知の体系に根ざし専門を伸ばす教育— |
| ・ 異文化理解に基づいた国際性の獲得 | —様々な文化・民族に親和する教育— |
| ・ 社会的責任を担いうる個の確立 | —自己と他者を認め合う教育— |

【参 考】

岡山大学管理学則
(大学の目的)

第10条 本学は、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究して、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、日本国家及び社会の有為な形成者を育成するとともに、学術の深奥を究めて、その成果を広く社会に提供することにより、世界文化の進展に寄与することを目的とする。

2. 岡山大学理学部の人材養成目的, 教育目的等

1 岡山大学理学部各学科の人材養成目的

数学科

現代数学の成り立ちを踏まえた高度な思考能力を身につけ、将来大学院へ進学して学問を究める者、教員となり数学の考え方を生徒に伝える人、企業や公官庁等で活躍できる人材を養成する。

物理学科

物理学の基本概念と方法論を習得することにより、科学の発展に寄与し、社会に貢献できる人材を育成する。

化学科

広い視野と高い研究能力を身につけ、専門知識を生かして新しい分野に積極的に挑戦できる研究者、並びに、教育など社会の諸分野で活躍できる人材を育成する。

生物学科

現代生物学の基礎知識と生命現象を多様な視点から解析する能力を身につけ、その知識と能力を活用して社会と科学の発展に貢献できる人材を育成する。

地球科学科

基礎的な学力を身につけることによって、人類にとってかけがえのない地球をよりよく理解し、問題解決に向けて創造的能力を発揮できる人材を育成する。

2 岡山大学理学部各学科の教育目的

数学科

現代数学の基礎についての講義・演習や幅広い数理科学資料の講読指導を通じて、学問としての数学の体系的理解と論理的思考力を涵養し、抽象的数理概念の精緻な表現技術の育成をめざす。

物理学科

自然科学を理解する上で必要不可欠な物理法則を講義、演習、実験などを通して理解し、それをもとに科学的な思考や判断ができるよう教育する。

化学科

化学に基礎を置き、無機分子、有機分子、生体構成分子のすべてを対象として原子・分子レベルでの物質の構造、物性、反応についての実験と理論に関する教育を行う。

生物学科

現代生物学に関する講義、演習、実験を通して、多様な生命現象を解明するための基礎知識、解析技術を習得し、論理的思考能力を育成する。

地球科学科

地球科学とは地球の総合的理解を目指す学問分野である。そのためには自然科学の様々な分野の基礎知識や研究手法を使って、地球を統合的に理解できる能力を育成する。

【参 考】

岡山大学理学部規程

(本学部の目的)

第2条

本学部は、自然科学の基礎を教授研究し、創造的、思考的及び分析的能力を備えた有為な人材を育成することを目的とする。